

第1回 授業づくり研修会を終えて

緊急事態宣言が発令され、急きょリモート中心の研修会となりました。急な変更にもかかわらず、18名の方がリモートで参加して下さり、全部で25名の参加者で研修会を無事終えることができました。少しだけ研修会の様子をお知らせします。

今回は、自立活動がテーマでした。発表は、「本校の自立活動検討会（自活検）について」と「自立活動の指導」という二本柱で行いました。

最初に、本校がどのような自活検を行っているのかを具体的な場面を示しながら、その流れやポイントを説明していきました。この発表中もチャットでは次々と質問が出てきました。ちょうど今、各校でも自活検を進めているところで、質問も非常に具体的なことが多くありました。例えば、「ずっと同じ目標が続いている生徒がいて、その目標をどのように考えたらいいいのか」といったものや「どのような問いを立てれば、話し合いが促進されるのか」「気になる姿を上げる際に、どのような視点で実態把握をするのが有効か」という質問もありました。

次に、自立活動の指導として、「高等部生徒の実践事例」を発表しました。これは、昨年度の研究発表会で公開した事例です。指導にいたるまでの経緯やどのように中心的な課題を設定したか、また発表後の経過などについてVTRを交えて発表しました。参加者からは、「前期の設計で『正確に情報や課題を受け止める』ために具体的にどのような指導をしたか?」といった質問が出されました。

二つの発表の後、10分間の休憩がありましたが、その間に、寄せられた質問にどのように答えていくかを本校職員が集まり、相談をしました。再開後は、すぐに答えていくのではなく、せっくなので質問された方に、生の声でしゃべってもらうようにし、やりとりを会場と続けていきました。何人もの方が、自分の言葉で質問をし、発表者とやりとりを進める中で、深めていくことができました。補足の部分では、本校仲矢校長が登場し、画面に向かって熱く語る場面もありました。約30分のディスカッションはあっという間でした。

最後の挨拶では、金島副校長が、自立活動についてのさらに熱い語りで締めました。リモート形式中心の研修会で、不慣れな部分もありました。次回は、リモート参加者の方と発表者とが直接語り合えるような場面設定も行っていきたいと考えています。

次回の授業作り研修会は、6月19日（土）です。テーマは、「作業学習」です。岡山県の状況がどのようになっているのか、不透明な部分が多いのですが、多くの方のご参加をお待ちしております。

参加申し込み先：fuy-fuku@okayama-u.ac.jp（副校長メール）

